

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	さかいブレ保育士事業				シート番号	014-111
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営	課 評価責任者(課長名)
						花田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	待機児童解消や、子どもを安心して育てることができる環境整備のために必要な保育士・保育教諭の確保が喫緊の課題となっている中、潜在保育士のスキルアップや就職支援等を目的に、平成29年度からの新規事業として実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 (民間認定こども園・保育所)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	保育士資格を有しながら、保育士等として就労していない者(潜在保育士)等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	保育士不足の解消を図るとともに、保育サービスの供給体制の安定化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内認定こども園等において実務研修や職場体験(ボランティア保育士)を行うことで、教育・保育現場での勤務に対する不安の軽減やスキルアップを図り、就労意欲の向上につなげ、保育士確保の促進及び就労支援を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	272	23	272	165	441	168	426
	主な事業費内訳								
	謝礼金	千円	240	0	108	12	180	26	162
	その他	千円	32	23	164	153	261	142	264
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	272	23	272	165	441	168	426
12	人件費 (b)	千円	2,170	2,000	1,580	1,990	1,980	1,980	2,000
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,442	2,023	1,852	2,155	2,421	2,148	2,426

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかいプレ保育士事業	シート番号	014-111
-------	------------	-------	---------

≪IV. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	認定こども園等での実務研修や実践を通して、就労に対する不安が軽減され、就労意欲の向上によって市内民間保育施設等への就職につなげることができた。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		参加者数	人	目標値	40	18	25	25
				実績値	3	9	13	13
				達成率	8%	50%	52%	52%
				評価	悪い	悪い	悪い	悪い
	算出方法・設定根拠など		過去の目標値及び実績値をもとに算出					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	参加者数	人	3	9	13	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,023	2,155	2,148	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	674,333	239,444	165,231	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
	備考(算出についての説明等)						

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		令和元年度から公立施設に加えて民間施設も職場体験の受け入れ施設に含めたことにより、達成率は下がってしまったが、参加人数自体は増えており、事業自体は徐々に浸透していると考えられる。加えて、体験後の参加者からのアンケート調査結果によると、「プレ保育士」として教育・保育現場で実践的、主体的に体験することで結果、就労に対する不安が軽減されたり、保育士の仕事を身近に感じられるようになるなど、気持ちの面で変化がみられ、就労意欲の向上によって保育人材の確保を推進することができている。

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	さかいブレ保育士事業	シート番号	014-111
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 参加者にとって、現場体験を経験できる場として、貴重なものであるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 参加人数が少なくなり、また、再開した場合においても研修期間が短くなる可能性もある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 休止した場合、事業費を縮減でき、また、再開した場合においても募集期間の設定を短縮するなど、規模を縮小した上で実施する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 申請時点においては、事前に書類等を提出してもらうなど、3密を避ける方法となっているが、実務研修の段階では体温のチェックなど、参加者の体調管理の把握を必須とするなど改善して実施する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 実務研修段階では、体温のチェックなど、参加者の体調管理の把握を必須とするなど改善して実施する必要がある。なお、期間を短縮して実施する等、効果的・効果的に実施する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 参加者にとって、実務経験を積むことができる貴重な場でもあり、就労意欲の向上によって保育人材の確保を推進することができていることから、今年度については、期間を短縮するなど、規模を縮小する形で継続実施する方向で進める。		